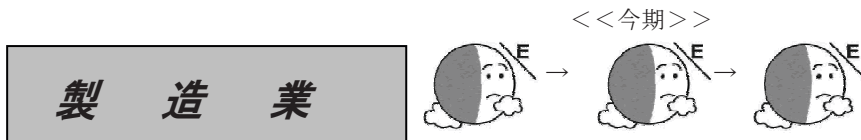
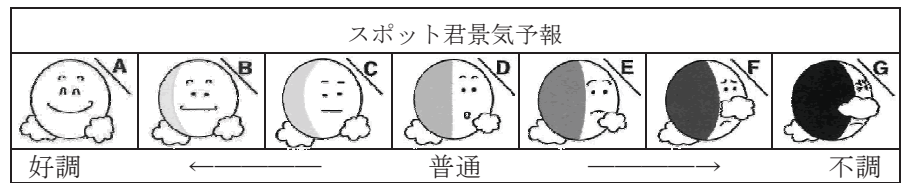


## 2. 目黒区内中小企業の景況（平成 28 年 10～12 月期）

### （1）今期の特徴点



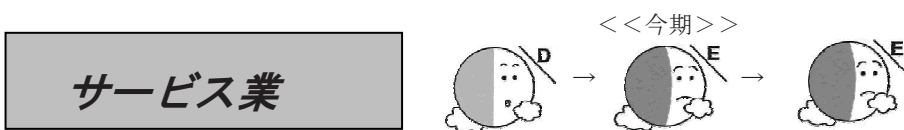
業況は△13.1で前期比3.6ポイント増と水面下ながらやや改善した。売上額は△7.2で7.8ポイント増とかなり改善した。収益は△7.3で3.7ポイント増とやや持ち直した。資金繰りは△8.4で1.0ポイント減と前期並みとなった。来期の業況はほぼ横ばいの見通し。



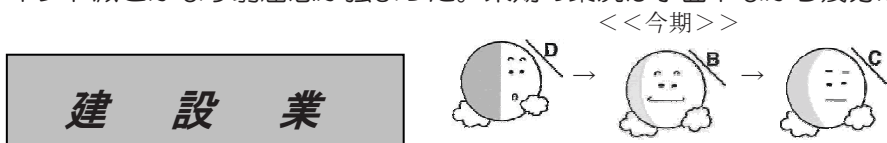
業況は11.2ポイント減の△5.0と大きく悪化に転じた。売上額は0.2ポイント減の△3.3とほぼ横ばいとなった。収益は7.8で16.2ポイント増となり、大幅に増加に転じた。資金繰りは△5.0で9.3ポイント減とかなり厳しい状況に転じた。来期の業況は大きく悪化する見込み。



業況は△9.4で16.1ポイント増と大幅に持ち直した。売上額は△5.5で9.2ポイント増、収益は△12.0で9.3ポイント増とかなり減少幅が縮小した。資金繰りは△19.9で3.3ポイント減とわずかに厳しさが増した。来期の業況はやや持ち直す見込み。



業況は、△19.4で5.7ポイント減とかなり悪化幅が拡大し、売上額は7.5ポイント減の△12.2とかなり減少幅を強めた。収益は3.4ポイント減の△16.7とわずかに低迷した。資金繰りは、△12.9で8.4ポイント減とかなり窮屈感が強まった。来期の業況は水面下ながら幾分か改善する見込み。



業況は16.8で22.7ポイント増と非常に大きく好転した。売上額は22.1で31.9ポイント増と極端に増勢に転じ、収益は16.4で18.5ポイント増と大幅に好転した。資金繰りは、△1.6で11.3ポイント増とかなり厳しさが和らいだ。来期の業況は3.8と大幅に好調感が後退する見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

